

会議の概要報告	
1. 会議の名称	第7回 甲賀市し尿くみ取り券売上金不足問題第三者調査委員会
2. 開催日時	令和8年2月13日(金) 10時00分 ~ 11時00分
3. 開催場所	甲賀市役所5階第4委員会室
4. 議題	<ul style="list-style-type: none"> ・「再発防止策や今後の行政運営のあり方についての提言内容」について ・次回の委員会について
5. 公開又は非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 (一部公開・非公開の理由) 個人のプライバシーの確保、及び委員の闊達な議論の場を確保
6. 出席者	委員 4名(欠席0名) 事務局職員
7. 傍聴者数	0名
8. 会議資料	1. 甲賀市職員事務引継規程 2. し尿くみ取り券売上金不足問題に関する取り組みの経過
9. 議事の結果概要	<p>【議事】</p> <p>(1) 「再発防止策や今後の行政運営のあり方についての提言内容」について</p> <p><u>主な意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を先送りにしてしまっている。責任の所在が曖昧であるがゆえに、その時々解決しなければならないという切迫感を欠いている。 ・業務執行の方法に関して少し甘さがあったのではないか。 ・場当たり的な対処になってしまっているということ、解決に向けた手法についての検討が不足しているということ、その結果、解決の目処も立たないのに、無駄に時間を費やしたことは結局、第三者的に見ると行政責任という点で市民や議会に対して十分な対応だったのかという疑問を持たざるを得ない。 ・問題発生時点において速やかに情報を組織的に共有し、どのような体制で対応していくか役割分担を定め、問題点を洗い出し、それに対していかなる手法を用いれば現実的に解決可能なのかということを考えていくこと、これには外部の専門家を継続的に

関与させて活用した方がよい。

- ・いつまでに解決していくのかということの切迫性を持って検討した方が良かったのではないか。
- ・問題点を認識してから動き出すまで非常に時間がかかったことと単発的に動いているので、保全すべき証拠の範囲とか保全方法を検討しないまま、場当たりのやっつけてしまっている、逸失や散失している証拠があるのと人の記憶が薄れてしまっているということが問題だと思う。
- ・これは過去の問題ではなくて、現在の問題だという認識で、研修の材料にして意識改革をしてもらえたらと思う。
- ・引継規程があるが、どれだけ実効性が保たれているのか、その部分を研修等で押さえていかないといけないのではないか。
- ・部下の業務内容について把握できていないことと危機管理意識が薄かったのではないか。
- ・公金の取り扱いについても当時の状況からすると、あまりにも杜撰である。
- ・業務内容だけでなく取り扱う業務に問題がないかというような重点的な引継ぎも確実にしていけないといけない。
- ・いかに早く問題を表面化するかという仕組みも作っておかないといけないと思った。
- ・内部調査でいくと今回のように時間が過ぎてしまうということがあるので、それを避けるような仕組みを作っておいてはどうか。
- ・監察と言われるような機能が自治体では必ずしも制度化されていない。
- ・外部の専門家を入れて違った角度から物事を見て調査手法が検討できるようにしておけば、同じ内部調査を繰り返さなくてよい。
- ・今のコンプライアンス審査会の要綱や規定では対象外になってしまうところを広げれば新たに作る必要はないのかもしれない。
- ・内部調査をしている時にコンプライアンス審査会を使おうかという発想が生まれにくいこと自体が問題なので、問題を抽出してコンプライアンス審査会に移していくというスキームがないからであり、そこが一番問題かと思う。

(2) 次回の委員会について

- ・ 3月2日（月）10時から 甲賀市役所5階 第4委員会室

最終答申、報告会についての検討